

## 基本理念

1. 全ての人に平等で信頼される医療を提供する
1. 医療を通し地域住民の安心を考える
1. 職員が一丸となって地域医療の発展に尽くす



鶴川厚生病院全景

作者 松浦 節夫様：リハビリによって車椅子も使わず、有難いことです。  
 (在宅患者様) 俳句が唯一の趣味でございます。ご一覽賜らば幸甚です。

# MENU

- 鶴川厚生病院全景と俳句..... 1
- 職場探検【在宅支援部】..... 2、3
- 御家族様からの声..... 3
- 杉原 Dr のコラム..... 4
- ほ、えみ写真館..... 4

### 新富士病院グループ

**医療法人 社団 三医会**

- 鶴川厚生病院(113 床)
- 三輪診療所
- 訪問看護ステーション 鶴川ひまわり
- 訪問看護ステーション 長沢ひまわり
- デイサービス三輪ひまわり
- ひまわり保育室
- ヘルパーステーション ひまわり

**医療法人 社団 喜生会**

- 新富士病院(344 床)(静岡県富士市)
- ヒューマンライフ富士(老健)(150 床)
- 訪問看護ステーション 喜 ほか

**医療法人 社団 晃進会**

- たま日吉台病院(川崎市麻生区)(199 床)
- 川崎北部クリニック
- 訪問看護ステーション よろこび ほか

**社会福祉法人 秀生会**

- ヒューマンヴィラ伊豆(特養)
- ヴィラージュ伊豆(特養) ほか

三医会で働いた 20 数年間  
 神経内科(専門医) 杉原 浩

私は進藤院長が当院に赴任されたころ(私は昭和 60 年 4 月から)、鶴川厚生病院に週に一度の病棟勤務医として勤務させていただきました。

当時は病棟での胃チューブを交換することが主な仕事で、患者様の分泌物を浴びたのを懐かしく思い出されます。当時のナースの方々も現在勤務されており、まだ毛髪はふさふさとした小生を覚えていらっしゃるかと思います。

その後、4 階での勤務となり、外来(現在の鶴川厚生病院において)病棟勤務をあわせて行っていました。当時の外来は病院が奥まっつており、バス停から約 800 メートル歩かなければ外来にたどり着けず、一部の先生を除けば患者様の数は少なく閑古鳥が鳴いている状態でした(現在の三輪診療所の外来は当時と比較すると隔世の感があります)。

一方で当時の 4 階病棟は理学療法、作業療法の適応のある患者様が多く、聖マリアンナ医大の神経内科から 2 階、3 階



を含めて多くの転院を引き受けていただきました。感謝しています。

その後、外来が三輪診療所に移転し私も外来が中心となりました。この頃から当院の訪問診療、訪問看護が始まり、町田市、川崎市北部の訪問医療の先鞭をつけたと思います。訪問看護ステーションの拡大、リハビリの充実など高齢化時代にそくした発展がなされてきたと思えます。

現在では、三輪診療所、訪問看護部は外来や訪問の患者様ばかりではなく三輪、緑山など近隣住民に対して、デイケアなどを通じて健康相談窓口となって活躍してきています。入院が必要な患者様には当院とたま日吉台病院が連携して対応しています。さらに、最近長年の悲願であった CT が導入され、必要な時にはすぐに撮影することが可能となりました。

このように 20 数年間をふり返ると日本の医療の発展とともに当院も発展してきたと思えます。今後三医会の更なる発展を望みます。



## ほ、えみ写真館

## 原正寿医師による講演会

～三輪診療所～



## 編集後記

4 月となり徐々に暖かい日も増えてきました。今年も当院には新入職員が入职し、緊張している姿を見ると自分が新人だった頃を思い出します。

私事ですが、社会人 4 年目を迎え、少しは周りの人達から頼れる存在になれたのか?今までの 3 年を振り返り、また新しい 1 年を頑張ろうと思います。

「ほ、えみ」編集委員会  
 角森英夫 松田知子 松田智文  
 井桁直人 石井文子

## 部署対抗 ボーリング大会



## ボランティア講習会

～デイサービス三輪ひまわり～



# 三輪診療所 在宅支援部

## シリーズ職場探検

### 医師紹介 ♥ 往診風景



金曜担当小池医師と齋藤貞子様



月曜担当清水医師と齋藤露子様



火曜担当小田中医師と松浦隆子様  
表紙短歌作者松浦節夫様とはご夫婦で利用されています



水曜担当柳沢医師と叶姉妹こと  
原様柏木様ご姉妹



金曜担当有泉医師と石川ヨネ様



## 通院困難な方！医師が伺います

平成2年より、鶴川厚生病院 在宅医療室として訪問診療を行ってまいりました。そして、昨年末より 三輪診療所 在宅支援部としてリニューアル致しております。現在、医師7名で町田・川崎・横浜と広域にわたり、誠実で懇切丁寧な診療をモットーに訪問診療を行っております。今後は、福祉・保健との連携を強め、トータルで患者様とご家族を支えられる様、スタッフ一同励んでまいりたいと思います。

三輪診療所師長 津下純子



看護師 鈴木です

薬剤師 岡田です

クラーク野沢です

看護師長津下です

クラーク霜田です

森様は、人工呼吸器をつけてご自宅でお母様が介護されています。その療養生活の一部をお母様よりご紹介して頂きました。



森 進様、ご家族（お母さま）と水曜日担当 岸医師

「訪問看護ステーション鶴川ひまわり」から毎週三回の訪問看護、一ヶ月に二回の訪問入浴サービス、ヘルパーさんも週二回利用しています。月曜日の午後から、看護師さんとヘルパーさんで、清拭をしてもらいます。先に、足洗いや洗面桶にはった湯に足をつけながらのんびりとテレビを見ている。温まったところで出て、頭も洗い、温かいタオルで体全体を拭いてもらい終わり。水曜日は、入浴サービスの風呂に気持ちよく入り、その後、往診の先生に診察とカニューレ（気管切開部の管）の交換をしてもらっています。そして、看護師さんにマッサージをしてもらっています。金曜日看護師さん二人とヘルパーさんで清拭をしてもらいます。火・木曜日は、車で療育園に出かけて行きます。療育園からは、お花見に出かけたり、宿泊訓練で園に泊ったり。色々な行事に参加できるのも鶴川ひまわりの看護師さん、在宅支援部の皆様、入院の時に世話になる病院の皆様のおかげです。

ありがとうございます。

昨年9月にお父様をご自宅で看取られた、境様よりお言葉をいただきました。

「昨秋、父を見送った。父らしい静かな91歳の往生ではあった。でも、家族にとってはやはり淋しい。積極的治療を必要としない健康な父だったからこそ、自然に自宅での世話が始まった。」

自力で嚥下が出来なくなった時に病院にゆだねるべきなのか、特に中心静脈カテーテルの必要性が私を不安にさせていた。それを自然にそれまでの世話と変わらない状態へと導いてくれたのは、在宅支援部チームからの言葉だった。「今日では在宅でどんなこともできる。人工呼吸器をつけて看ている方もあるくらいだから。」それは一歩を踏み出せる力強い応援だった。全幅の信頼がおける体制。在宅支援部の方々と医師、訪問看護との連携、父の心身の健康、そして家族。どれひとつが欠けていても難しい2年半だった。

特に在宅支援部との出会いは、今では母の世話を支えてくれている。「感謝」の言葉につづる。そんな父との自宅での日々だった。



境様ご夫妻 ご自宅前にて

もうすぐ退院  
なんだけど...

### こんな方をご支援します

- ・ 自宅で酸素を必要とする方
- ・ おしっこを付けて退院する方
- ・ 栄養チューブを付けて退院する方
- ・ 24時間点滴で栄養を取らなければいけない方
- ・ 出来れば最後を家で迎えたい方
- ・ 人工呼吸器を付けて退院する方

他にも、分からないことは何でも、気軽にご相談下さい！

## information

### ☆☆ 第5回講演会のお知らせ ☆☆

#### 「認知症について」

開催日：平成19年5月26日(土)  
午後2時～

会場：三輪診療所

演者： 杉原 浩 医師

聖マリアンナ医科大学卒業 神経内科  
専門医（内科・神経内科 脳卒中 老年病）

三輪診療所外来担当  
毎週火曜日午後

ご来場をお待ち申し上げます

### 訪問曜日・時間

月曜日～金曜日

午前9時～午後5時

お休み 土・日・祭・年末年始

### 訪問地域

町田市

川崎市（麻生区・多摩区・宮前区）

横浜市（青葉区一部地域）

### 三輪診療所 在宅支援部

TEL 044-980-1305（直通）

FAX 044-980-1306